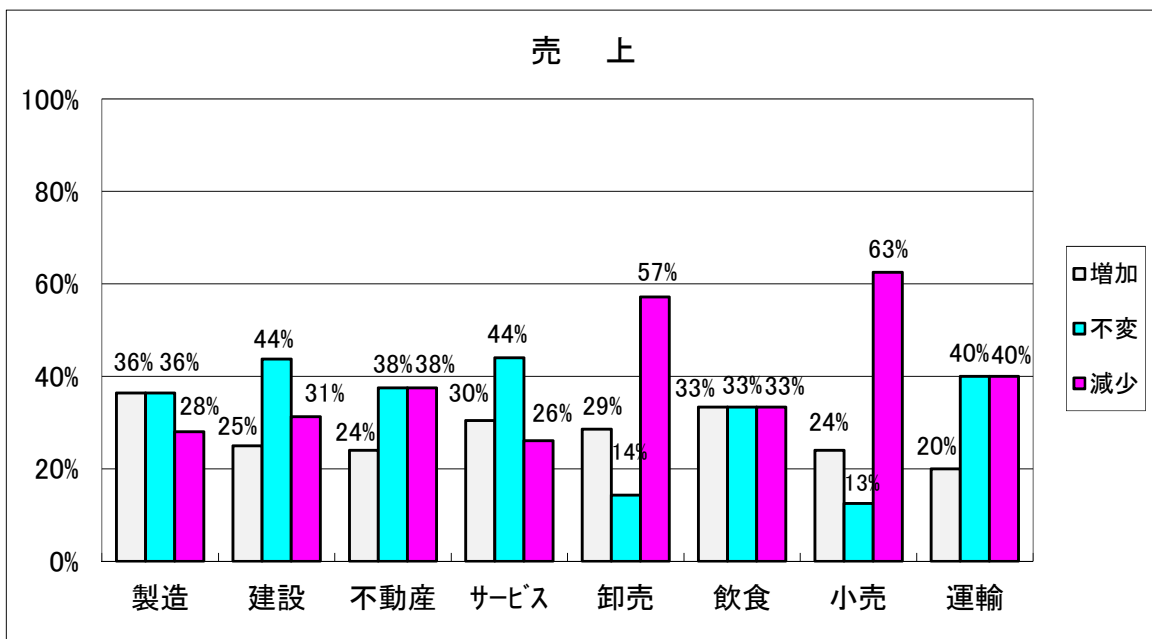


調査1 平成29年1月～6月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成29年下期の見通しについて比較表示してある。

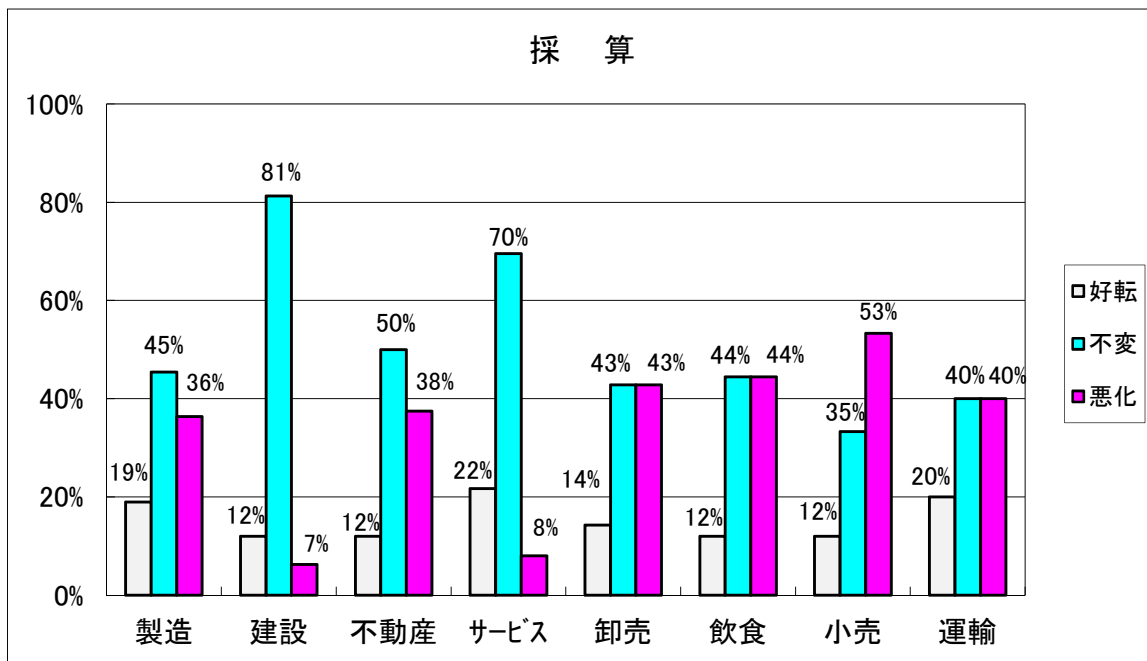
①売上について

全体的でみると昨年より「増加」が28%（前回調査30%）、「不変」が34%（前回調査30%）、「減少」は38%（前回調査40%）と、7割以上の企業が不変及び減少と回答。その中で、売上「増加」が見られたのが製造業。一方、「減少」が顕著なのが小売業（63%、前回調査67%）、卸売業（57%、前回調査33%）であった。



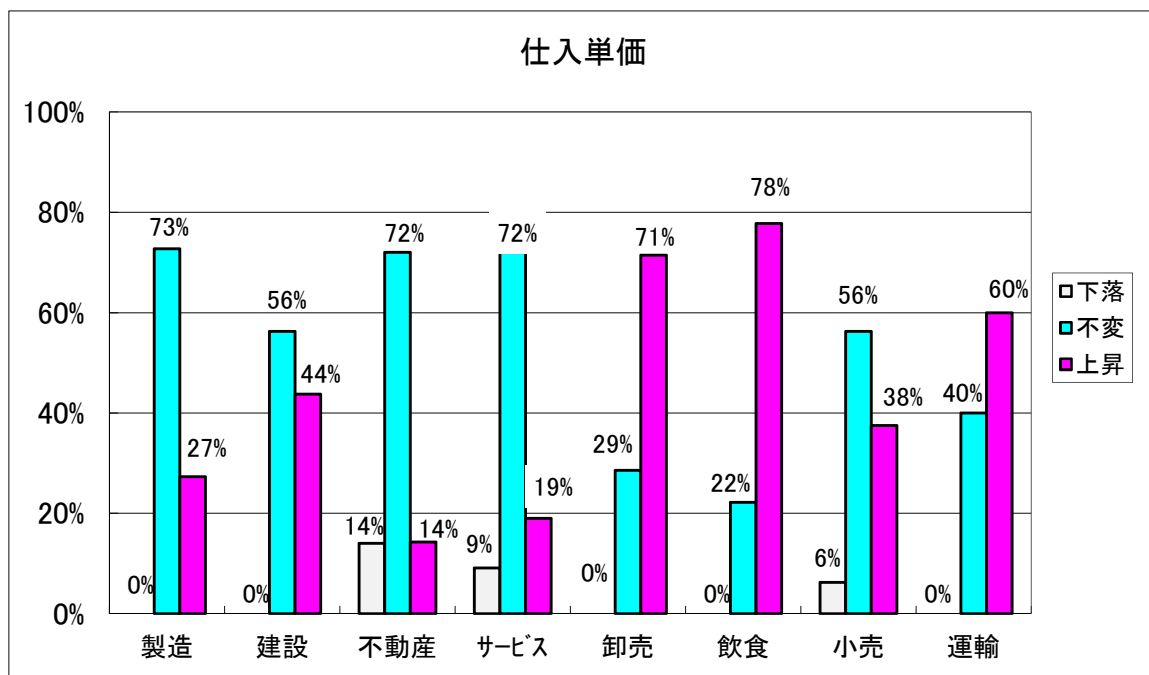
②採算について

全体でみると、「好転」16%（前回15%）、「不変」55%（前回55%）、「悪化」29%（前回30%）であった。業種では小売業（53%）、飲食業（44%）が「悪化」しており、飲食業では仕入の値上がりが原因で厳しい状況である。



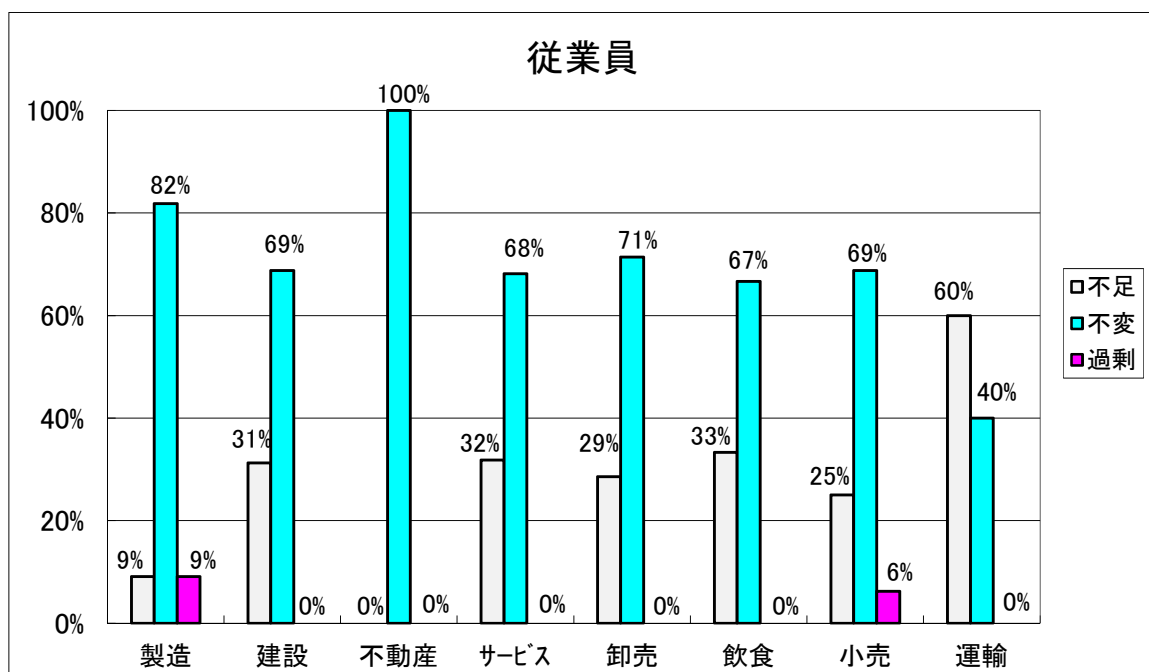
### ③仕入単価について

「上昇」が顕著なのが、飲食業(78%、前回100%)、卸売業(71%、前回50%)、運輸業(60%、前回25%)となっている。

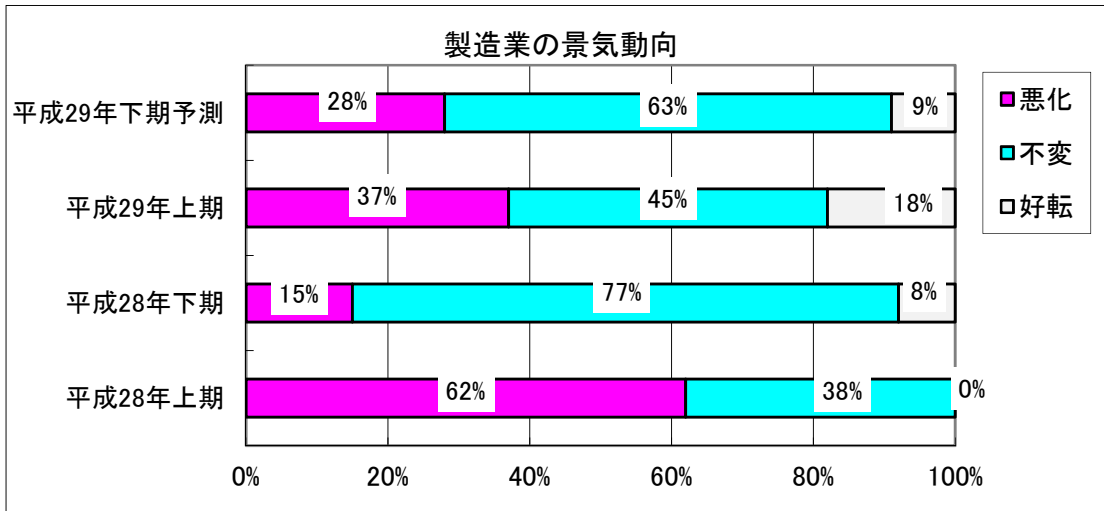


### ④従業員について

「不足」が顕著なのが、運輸業(60%、前回調査50%)飲食業(33%、前回調査0%)サービス業(32%、前回調査0%)で人手不足が深刻な状況である。

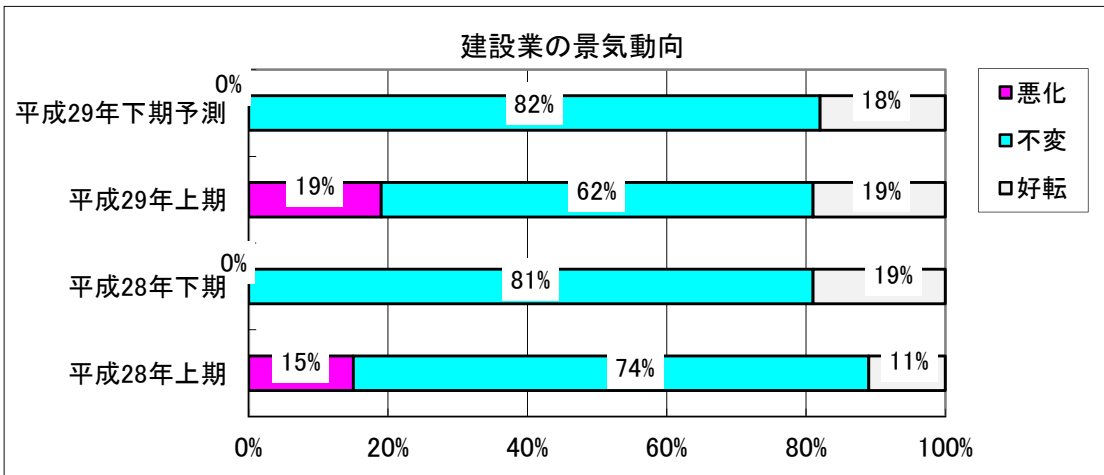


⑤業界の景気動向について



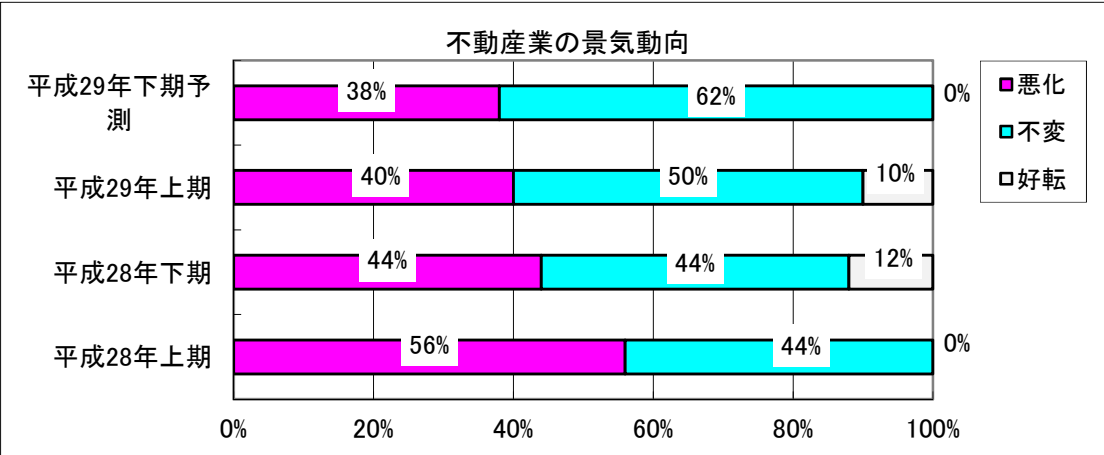
■製造業

平成29年上期では、「好転」が18%で「悪化」が37%と悪化傾向が強い。平成29年下期の見通しは「不変」が63%、「悪化」が28%で依然として厳しい見通しとなっている。



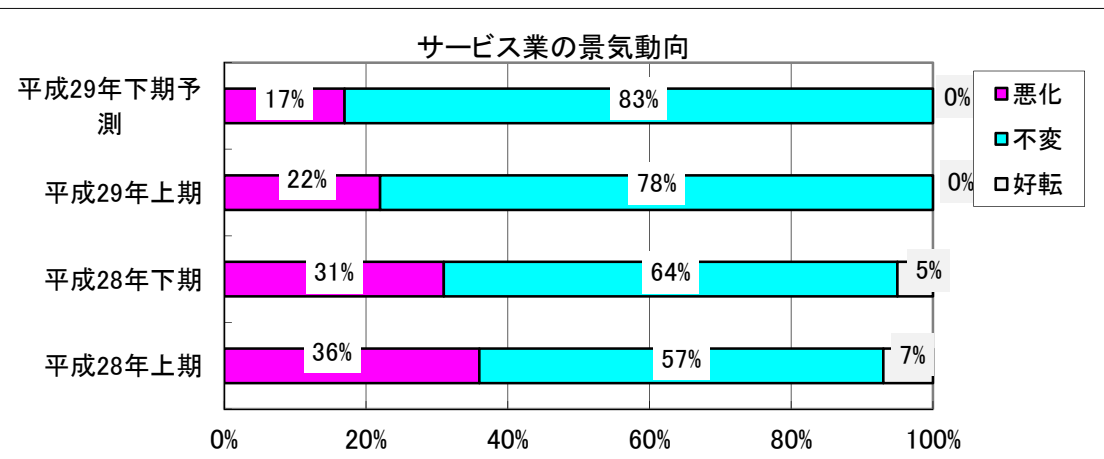
■建設業

平成29年上期は、「好転」と「悪化」が共に19%であった。全体的には不変のようだ。下期の見通しは、「好転」が18%で「悪化」は0%となっており、若干明るさを感じる。



■不動産業

平成29年上期は、「好転」が10%で、「悪化」が40%と前回と変わりなく景気は低迷している。下期は、「好転」がなく「不変」が62%と依然として見通しは厳しい。

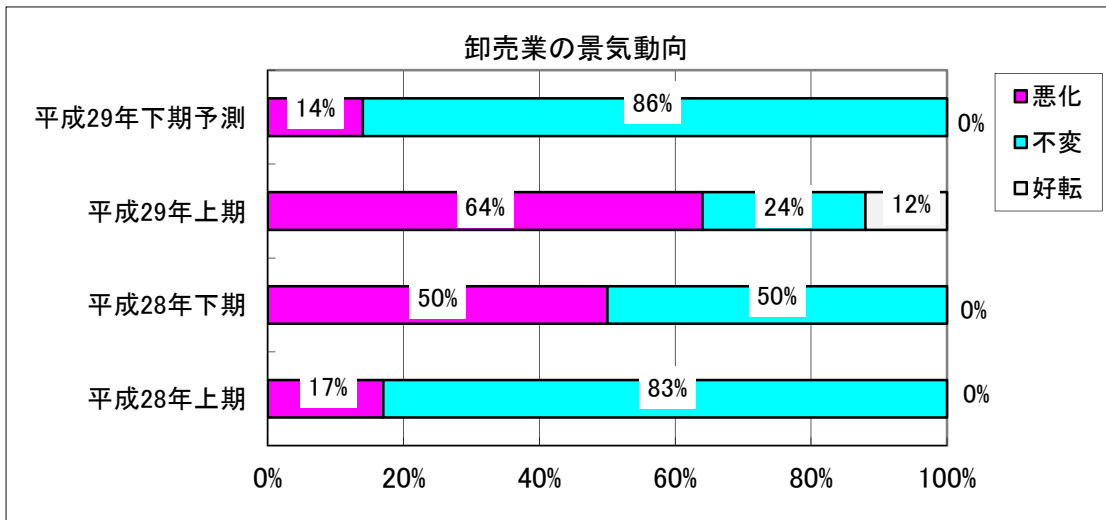


■サービス業

平成29年上期では、「悪化」が22%と前回よりも減少しているものの「好転」の回答はなく景気の回復感を感じられない。下期の予測は「悪化」が減少しているが、「不変」との回答が多く、現状と見通しは変わらない。

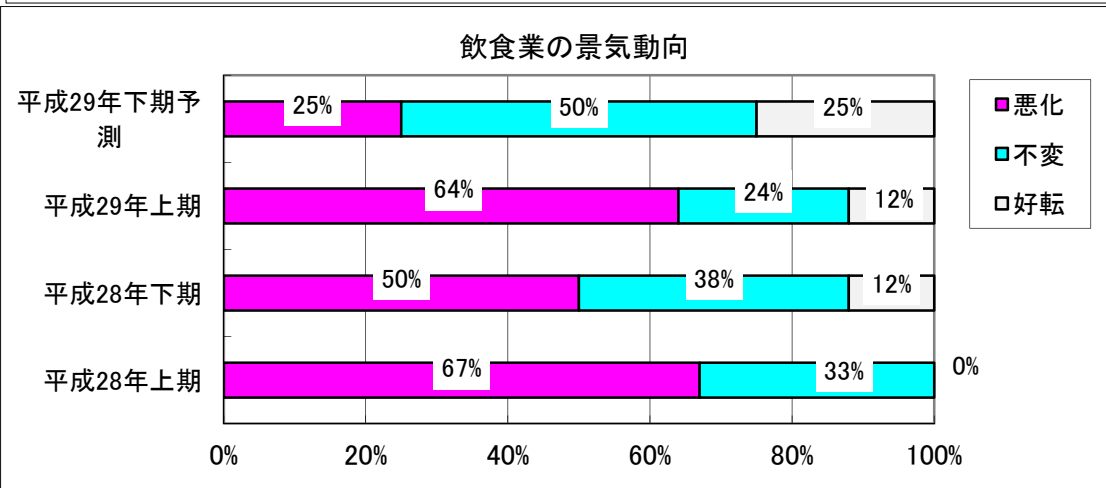
### ■卸売業

平成29年上期は「好転」が12%となっているが、「悪化」64%と半数を超え景況感は悪い。下期予測も、「好転」は無く、引き続き厳しい予測であった。



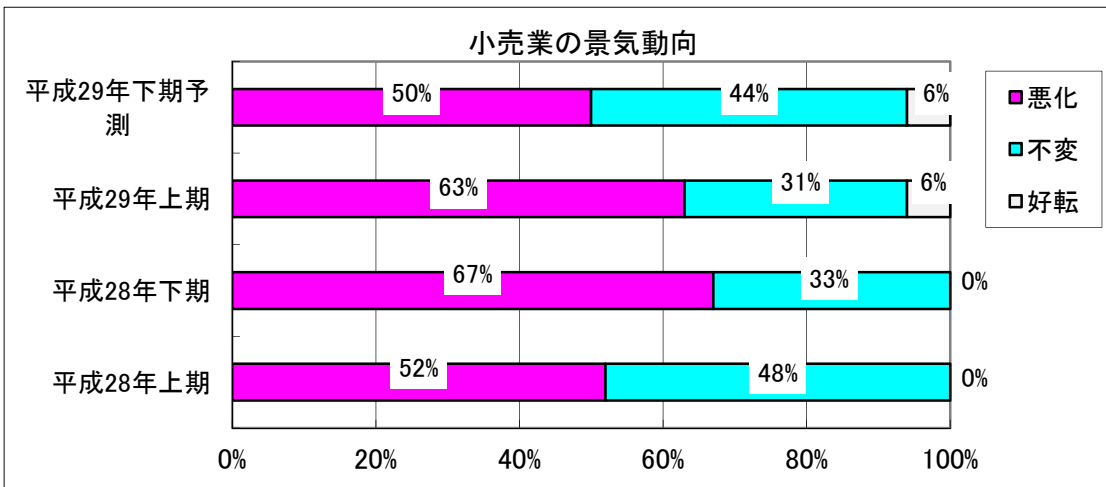
### ■飲食業

平成29年上期では「悪化」が64%と半数以上の企業が回答している。下期予測は、「好転」が25%と増加し、「悪化」が25%と減少している。若干の期待は感じられる。



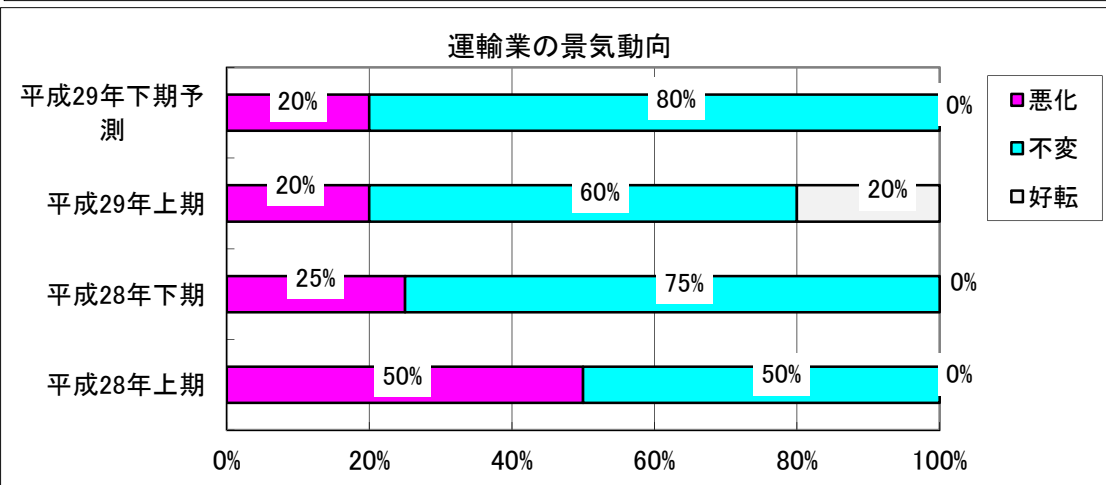
### ■小売業

平成29年上期は、「悪化」が63%と半数以上の企業がかなり厳しい状況にある。下期の見通しも「悪化」が50%と依然として厳しい見通しとなっている。



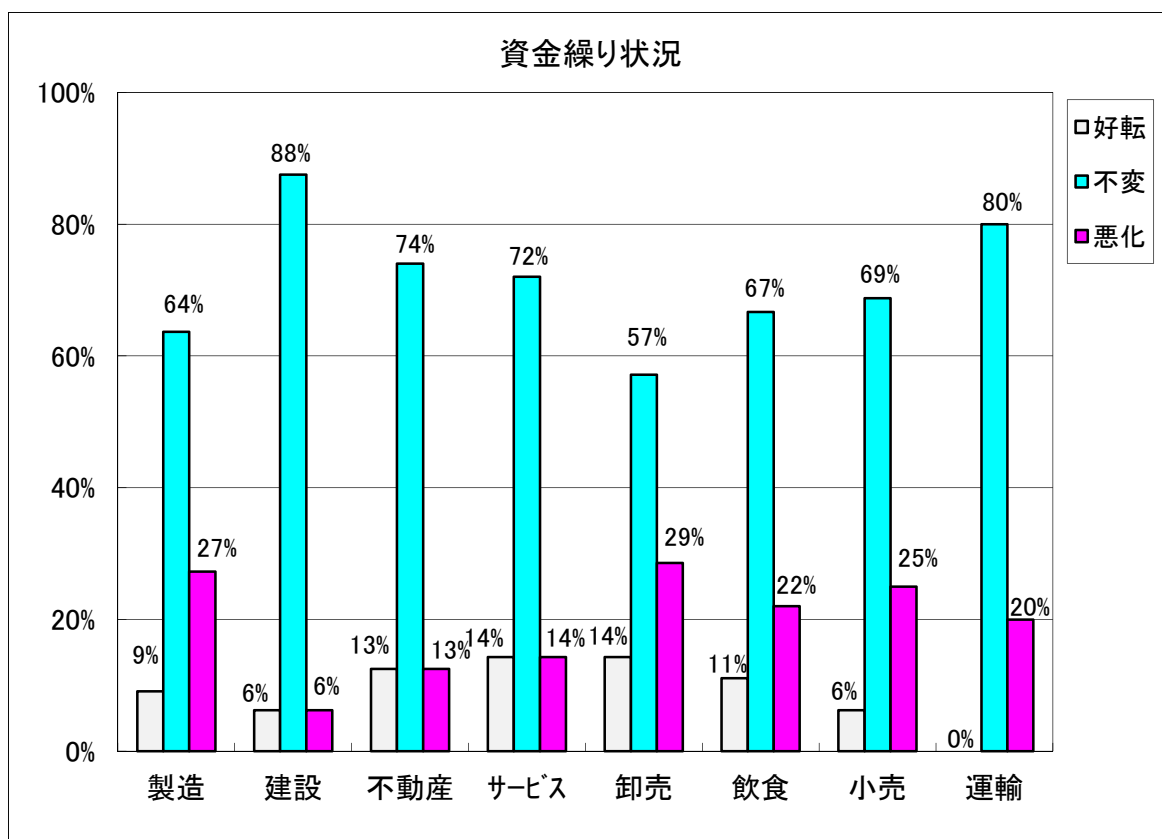
### ■運輸業

平成29年上期は、「好転」と「悪化」がともに20%と前回調査より若干改善されている。下期は、「不変」は80%で大きな景気回復はない見通しである。



## ⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が72%（前回81%）、「悪化」が18%（前回18%）、「好転」が10%（前回6%）と回答している。前回調査と大きな変化はなかった。



## ⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が59%（前回59%）、「融資無し」が22%（前回16%）、「厳しい」が5%（前回3%）、「緩やか」が14%（前回12%）であった。融資状況については概ね変わりはない。

